

ルル下の丘

2011

6月

No.20



目次

みことば・きらりん	2
巻頭言	3
ヴォイス(1)	4
おでかけ・できごと	6

ヴォイス(2)	8
ぽっかぽか	10
ぴかぴかぴか・感謝	11
行事予定・寄付・編集後記	12

社会福祉法人 聖母の騎士会
恵の聖母の家

▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします ▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします

みことば

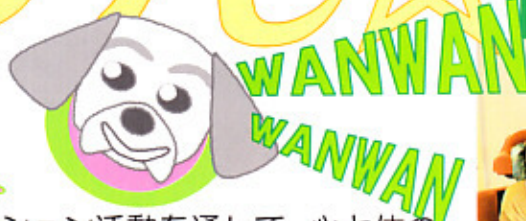
人間

のしあわせは、ささいなことの積み重ねでできている—
小さな、すぐに忘れてしまうような、あたたかいキス、ほほえみ、やさしいまなざし、
心からのほめ言葉、そして数えきれない、ちょっとした楽しい考えや
うれしい気持ちといったものだ。

サミュエル・テイラー・コールリッジ（即興芸人）

きらりん

動物ふれあい活動



「園に犬と飼い主に来ていただき、ふれあいやレクリエーション活動を通して、心と体のリフレッシュと癒しのリラックスや交流、楽しみ」を目的に、2009年度から行っています。活動に当たっては、参加利用者のアレルギーの有無を確認し、触れ合いの時にはタオルやエプロンをつけて感染予防を行っています。活動後はエプロンを包んで回収し、ほこりがたたないようにしています。2009年度は試行期間でしたが、2010年度は交流ホームやあゆみの広場の多目的ホールで4回実施しています。当初よりボランティアでご協力いただいている廣瀬久美代さん（9頁もご覧ください）が2010年8月に「日本アニマルセラピー協会大分本部」を設立され、この動物ふれあい活動でも専門犬とセラピストによる支援を受けられることとなりました。2010年3月の活動では医療ケアが中心となる利用者に対しても実施しましたが、表情が変わったり、じっと見つめる、あるいは視線をきょろきょろとさせる目の動きなどから、動物に対する気持ちを表されていました。今後は参加者のグループ編制、そして動物との遊び方、かかわり方から内在している意識をひき出す支援法の拡大をセラピストと連携していく必要があると感じています。尚、活動開始に当たっては西別府病院さまからご助言をいただいています。改めてお礼申し上げます。

（生活福祉課 介護福祉士 河野潤二）



表紙写真はあゆみの広場で行われました臼杵支援学校中学部訪問教育学級の入学式の様子です。

巻頭言

園長 佐藤圭右

三月十一日十四時四十六分に生じた、日本での観測史上最大となるマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震は、最大遡上高389メートルにのぼる津波も引き起こし、死者行方不明者は約二万八千人、避難者は十三万人以上以上、四月十九日現在という未曾有の東日本大震災となりました。

被災地の重症児者施設は、直接の人的被害こそなかったものの、天井が損壊したなどの建物の被害があったと聞いております。また、それ以上に、通信手段がない、燃料が不足し、病棟に暖房が入れられない、スタッフやその家族の安否が確認しようがない、など引き続いて生じた混乱に困っていると伺いました。そのような連絡を受けた西日本のある施設は、寝具類や非常食、医療品などをお送りしたそうです。

恵の聖母の家でも、スタッフによる募金や、守る会大分県支部による募金が行われ、日本赤十字社に義援金として届けられるようです。また、国、県からの要請があればボランティアとして出向く看護師、介護福祉士、臨床心理士などのスタッフのリストも準備され、出動要請を今や遅しと待っている状況です。

ただ、そのような状況の中で、在宅で過ごされている重症児者の情報は全く聞こえてきません。在宅人工呼吸器を利用している方もいらっしやるでしょうが、停電の中、どのように過ごされているのか案じています。もし、大分県に転居されてもいいように、在宅重症児の受け入れもできるよう、恵の聖母の家をはじめとする大分県内の重症児施設は、受け入れ可能数を県に報告しております。緊急時は定数を超えた受け入れを認めると国からも通達があったようです。ぜひお力添えができればと思います。

さて、今回の大震災では、「想定外」という言葉をよく耳にします。予備電源を全て喪失した福島原子力発電所をはじめ、これだけ広範囲だったこと、津波の威力など…。では、逆にどこまで想定すればいいのでしょうか。

恵の聖母の家では、土地は谷を埋めたものでなく、逆に山を削ったところに建っています。ですので、埋もれることはないでしょう。建物自体は昭和五十六年の耐震基準に基づき施工されています。水は、二リットルペットボトルが二百十本あり、非常食として粥のほか、カレーライス、ハヤシライス、サバの

味噌煮などいろいろな種類のものが三日間分蓄えられています。非常用の自家発電装置もあり、人工呼吸器やモニタ、最低限の照明は使用可能です。ただし、大量に燃料を保管することは消防法上禁止されていますので、野津町内のガソリンスタンドに消費した分だけ購入しに行かなければなりません。しかし、今回のような震災では、燃料の確保に苦労した、携帯電話が使えなかったなどがあります。いざとなれば、臼杵市消防署野津分署が歩いて行けない距離ではないので、何とかしよう！なども考えています。

想定を拡大すればその分、費用はかさみます。限られた予算の中、今回の震災を検証し、何が特に必要かじっくりと、しかしスピードを持って考えてみたいと思います。

いずれにしましても、人手は多すぎて困ることはないようです。食料や水は各自持参で、車に寝泊まりするつもりで、何かあったら恵に集合するようにしましょう。スタッフのみでなく、ご家族の皆さまも無理のない、事故のない範囲で。



2011年度

桜咲く、春

事務長 松浦紳一郎



一年で一番自然の恵みを感じる季節に一転して自然の恐ろしさを知らされる。それは否応なしに、全員が防災対策を考えざるを得ない未曾有の大惨事。津波に対しては、百年に一度の予測は想定できるが、今回の千年に一度は想定不能といわれている。

地元の臼杵市も海岸線が連なる海の町。

さっそく、津波の高さ3m想定の見直しを10mの高さを想定して防災の見直しを図っている。想定できない災害は予防も不可能であることは当たり前だが、今回は10m程度では如何せん状態だったのに、現実の防災対策はそれ以上は無理とのことなのだろうか。それとも、自分達の身近においてはあのような事はまず起きないとの判断なのだろうか？

話しは変わるが復興において思い出したのがアフリカに身をうずめて活動している人の講演での一言。

日常生活において「あるものでなんとかする」それがアフリカでの考え方、それに対し、現在の日本人は「ないからできない」と考えがち。

たしかに、今はこんな便利な物があるのだから、それを使わずにどうするの。もう、こんな時代遅れな物はどんどん処分しなければといった豊かな時代、いや飽食の時代。

未曾有の大惨事で電気がなければ、水がなければ、どうなるの？…と思うと、何とかなるさと思う反面、やはり不安になる。いざ活躍するのは無用の長物と化して忘れられていた物だと倉庫の中を探している。人間の力は、この程度だと思いながら。

がんばろう日本

『手を携え心を尽くして』

総師長 牧山美鶴江

ボカボカ陽気で桜楽しむ話題の中、新しい取り組みの決意と共に迎えるはずだった新年度！！ 3月11日の東日本大震災・原発事故関連のニュースの中で2011年度が始まり、とてつもないエネルギーが私たちの住む地球に存在する事をあらためて知らされた。日頃から無意識に呼吸し、語らい、土や太陽で育った美味しい作物を当然のように戴いている。これも同じ自然のエネルギーのお陰である。どちらにしても自然力に対して無力な私たちが、その中でも最も弱い重症心身障がいの方々と共生する者として今、何をなすべきか、災害時の対応をより具体的に考える機会を今回の震災で与えられた。

今年度の当園の目標が“おもいやり”である。自然に対し、隣人、もっとも必要としている利用者の方々、上司、スタッフ、自身にも思いやりを持てば、おのずと互いに相手を大切に作る心が芽生えて来る。さて、この“おもいやり”を具体的にどういう形で実践していくか。私たちの仕事はいつも注目されている内容のものばかりとは云えません。ねたつきりから行動異常の方々や利用者さんの療養生活に関わっている事が主です。一日8時間、大袈裟には自分の人生の1/3をかけています。だからこそ思いやりの心と人に喜ばれて満足する心（サービス・マインド）を育てる事が年度目標の実践に繋がると考えます。思いやりに満ちた言葉かけを、今日より明日は一回でも多くを一人ひとりが心がけると、サービスマインドが大きく、仕事を持続するエネルギーとなり、施設全体が変わって来ると期待します。

自然のエネルギーには無力ですが、自ら作り出すエネルギーは利用者さんを通して自分の幸せのサイクルに。人生の1/3をかけている意味が見出せるのではないのでしょうか。まずは自分自身の実践から！！

検査



マレーシアひとりの旅

検査室 茂田 実

老後は海外で暮らす？ これまでのしがらみを断捨離して海外の生活もあり、かと最近思うようになった。まずロングステイの下見に出かける事にした。平成二十年四月下旬、六日間格安ツアー、添乗員ナシ、現地案内人アリのツアーです。今回の目的は、治安、生活水準、物価、英語、食事、気候など、日常生活がうまくやれるか？の旅です。福岡、シンガポール、クアラルンプールの往復。福岡からのツアー参加者はいなくて、私ひとりの旅となりました。不安、福岡空港から何とか乗り継いでクアラルンプール空港に夕方到着。現地案内人が車で迎えに来てくれてホッとしました。高速道路から市街へ。熱帯植物、見た事のない風景、高いビル群。かなり都会で、マレーシアに来た実感がしました。ホテルは二十六階建て案内人がチェックインしてくれました。日本語は通じないようだ。不安、ホテルの朝食はバイキング形式で、フルーツは八種類くらい。毎朝フルーツ三昧です。近くのペトロナスタウンタワーへ歩いて行く。歩道は狭く、横断歩道はほとんどない。車は多く小型

車がほとんど。車の切れ目を見て渡る。かなり危険、現地の人の様子を見てコツをつかむ。ツインタワーの見学は無料。人気があり、五時間待ちとの事。あきらめて電車に乗り、チャイナタウンへ。いろんな物がある。食へ物は安く、見て回るのも楽しい。ドリアンを見つけ、すぐその場で食べる。臭いけれど完熟はトロツとしてクリーミーでおいしい。その他の買い物をしてモノレールでホテルへ。次の日の朝早く食事を済ませ、タクシードリアンタワーへ。すでに百名くらいいたが、一時間でタワーに上れた。市街が一望でき、庭園もきれい。また、ホテルの近くにデパート街があり、銀座のようなエリア、人が多いがゴミがない。歩き疲れたので足つぽマッサージュしてもらった。痛い…デパートでもほとんどのトイレが有料。これがシャクにさわる。現地の人は三食外食するらしい。フードコート、食堂街はいろんな飲食店が集まっている。割安で早く食べられる。私はカレーライスをよく食べた。味は良いがライスが細長くてマズイ。やっぱり日本米がおいしい。

コンビニやスーパーマーケットもかなりあり、品物は豊富。物価は30%くらい安いようだ。気温は年中33℃前後で毎日のようにスコールがある。四日目の朝にスコールがあり、ホテルで足止め。十時頃モノレールに乗って座っている間、現地人らしい三人連れに時間を聞かれ、私の腕時計を見せた。それから背負っているリュックを押されたが気にしなかった。彼らはすぐ次の駅で降りた。私は電車を乗り換えてチャイナタウンへ。ドリアンや食べ物を買ってホテルへ戻る。部屋でリュックを開けると二カ所、10cm程切られていた。思い出してみると、モノレールで三人連れに押された時だと思った。すでに五時間経っている。鈍感…。幸いにも水ボトルを差し込んでいたので、何も盗られていない。まあOK。結局、ひとり旅なので、市内観光ツアーに行けず、毎日、電車とモノレールを使ってショッピングしただけとなった。

今回旅で、「マレーシアの治安はあまり良くない」「物価は日本の三分の一くらい」「英語は現地に話してもほとんど通じないが駅やホテルではOK」「食事は辛い私の口に合うし安い」「気候は年中暑いし、すぐ汗が出る」「スコールがある」「フルーツは満足(特にドリアン、マンゴスチンは最高)」。不安だらけのひとりの旅。行って良かったマレーシア。また行きたい。テリマカシー、ありがとう。

- 追記：1リンギット30円/ドリアン1個500円/マンゴスチン20個400円/コーラ100円/缶ビール250円/チキンカレー200円/足つぽマッサージュ30分900円/有料トイレ8円/モノレール100円/ガソリン1ℓ70円/タクシー2km200円

地域福祉課

ホスピタリティ
・マインド

主任 松山 修一

航空会社で、苦難の中でも筋を通して生きる一社員の姿を描いた映画「沈まぬ太陽」をみる機会がありました。フィクションかどうかの問題はあるようですが、主人公が事故にあわれたご家族のもとに何度も足を運び、受け入れていただくとうとする姿勢に今度の当園の目標「おもいやり」が浮かびました。また、昔、通信教育のレポートで出された「同情と共感の違い」という課題も頭をよぎりました。その時は日本語、英語の辞書をひいて、英語の場面による単語の多さに驚いたことを覚えていきます。

ところで、先日営業を再開した東京ティスニールランドでは「ホスピタリティ・マインド(相手を思いやるマインド)」がリーダーの条件としていそうです(ティスニールの教え方中経出版)。「おもいやり」はいろいろなところで用いられているようです。

震災にみられるように、一つの歯車が狂うと全てに影響が及ぶ時代でもあります。計画だけでなく評価も大事に、今年一年、関係する皆様とこの目標を胸に、足元を伝えつつ、共感しつつ歩いていければと思います。

できごと

2011年2月2日(水) 節分

日本の伝統や風習を伝える一つとして豆まきを行っています。節分のいわれを説明する中で、利用者の方に「自分のなかを、倒したい鬼は何か？」を聞いてみたところ、「ワがまき鬼」「遠慮鬼」や「かゆみ鬼」と、自分のことや他の利用者のことを心配して答える等、優しい答えが返ってきました。出された鬼の名前を紙に書いて鬼に貼って登場してもらいました。利用者の皆さんは鬼に貼ってある紙をめがけて、支援者と楽しく豆のかわりの玉投げができていたようです。鬼退治の後はお菓子等を美味しくいただいて楽しい時間を過ごしました。(保育士 大津留佳恵)



3月3日(木) ひなまつり

ホールの方で行っていますが、お部屋を離れるということ期待感が高まった方もおられたようです。ゲームを通して楽しもうと3グループに分かれた利用者の方にお内裏さま、三人官女、五人囃子になっていただき、じゃんけんの勝ち抜き戦を行っていたが、非常に盛り上がり、参加者一同楽しめたようでした。おやつの方は利用者の口に合うものを選んでみたのですが、全ておいしく食べていただけたようです。楽しいお祝いのひとりが過ぎたのではと思っています。(保育士 長野祐子)

3月12日(土) 動物ふれあい活動

2010年度は交流ホーム、あゆみの広場の多目的ホールで各2回(計4回)実施しています。また、動物ふれあい通信を病棟に掲示して、参加されている利用者の方の様子を伝えています。この日は4匹の犬と5名の大分大学の学生ボランティアの皆さんから手伝っていただき、にぎやかな活動となりました。利用者の方ではじめての方は犬が膝に乗った時に触れなかったようですが、他の方では、感触を確かめるように手を伸ばしたり、肩に置かれた犬に自ら頬をすり寄せて穏やかな表情で緊張が和らいだ様子を見せたり、目をきょろきょろさせて「何だろう」と興味を示される様子や、また「今度は犬と外を散歩したい」との感想を伝えてくださる方もおられました。覚醒や気分転換につながったと感じています。

復活祭ごミサ 4月24日(日)

交流ホームで潔き聖母の家の皆さま方とイエスさまのご復活、そして大震災で影響を受けられた方々のためにお祈りを捧げました。神父さまからはろうそくの光りを例にあげて、イエスさまがともまきれいな輝きで私達を照らしてくれていること、この命の輝きが一人ひとりの中で輝いていること、私達の身体をつかっている命の輝きは、障害の有無にかかわらず、身体が朽ちた後も終ることはないということ、そしてそれを教えてくれたのがご復活であることを話して下さいました。



2011年度施設行事予定

月	日	内 容
3	31	木 施設外療育 吉四六ランド
4	14	木 施設外療育 道の駅みえ
	24	日 復活祭ごミサ
5	27	水 施設外療育 道の駅みえ
	8	日 野津ルルド祭
	12	木 施設外療育 犬飼リバーパーク
	21	土 家族の日
	26	木 施設外療育 臼杵石仏
6	9	木 施設外療育 内山観音
	23	木 施設外療育 道の駅きよかわ
	30	木 施設外療育 内山観音
7	14	木 施設外療育 道の駅きよかわ
		他、七夕/夏遊び
8	11	木 施設外療育 室内レク
	15	月 聖母被昇天祭・故利用者追悼ミサ
9		他、夏のボランティア公演
	8	木 パークプレイス大分
	22	木 パークプレイス大分
	29	木 買い物臼杵
10	15	土 ふれあい運動会
	27	木 買い物臼杵
11	24	木 買い物臼杵
12	10	土 クリスマスの集い
		他、餅つき/サンタプレゼント/クリスマスミサ
2012年		
1	1	お正月行事
2		節分
3		ひなまつり

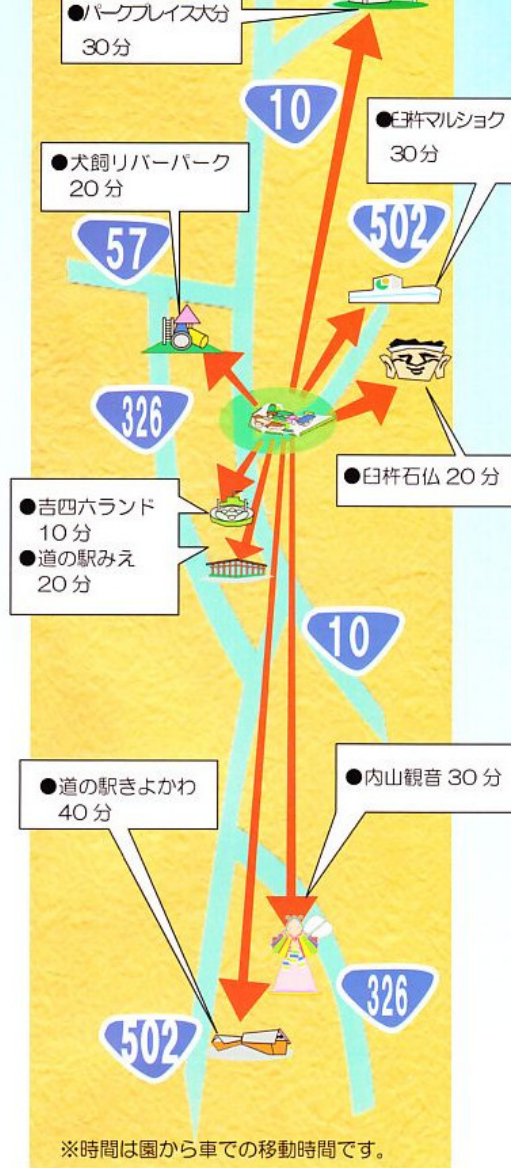
※ 事情により変更の場合があります。

ICF勉強会 2月3日(木)・2月24日(木)

講師をそれぞれの回にお招きする形で2回勉強会を開きました。3日は姫路獨協大学医療保健学部教授村井弘育先生から「WHO」「ICHDH」とICF」「ICFの実践」をキーワードに、ICFは全ての人の健康に関わる生活の状況を全人的に表すためのものとして開発されたこと、共通言語を通して一方通行ではなく、いろいろなものが双方向で影響し合って何らかの支援を必要とする人に効果的に行われるための手段の一つであることを教えていただきました。また24日は鹿嶋隆志社会福祉士事務所の鹿嶋隆志先生から個別支援計画書にあわせて具体的なポイントを教えていただきました。ご指導、ご助言をありがとうございました。



2011年度施設外療育予定



※時間は園から車での移動時間です。



おでかけ

2011年

3月31日(木) 吉四六ランド

5名の利用者の方と当園から10分程度の公園にお花見に出かけています。到着後は、挨拶の後、クイズ問題や漢字問題を解く形のオリエンテーリングを行っています。疲れた時に使用できるように車椅子を歩行できる方にも準備していましたが、使用することなく気分よく散策されていたようです。またご家族と一緒に参加された利用者の方には楽しい触れ合いの時間となったようです。他の利用者の方も山や吉四六さんの家を見たり、大きくあくびをされたり、また「桜やな」「天気やな」と話してくれたり気分転換につながったと思います。桜の花は五分咲き程度でしたが、快晴で天気にも恵まれ、楽しい時間を過ごすことができました。(竹尾昭彦・佐藤寿洋)



4月14日(木) 道の駅みえ

車で20分ほどの隣の道の駅みえに4名の利用者の方と買い物に出かけました。到着後は皆で記念写真を撮って、お店に入りました。皆さんの買い物は、おやつや雑貨、飲料水だったようです。商品を前にすると「いらんいらん」と首を横に振られたり、逆に気に入ったものには手を伸ばして納得した表情を見せられた利用者の方もおられました。天気も良く、移動中の車内で気持ち良さそうにされていたり、買い物の時は起きて過されたり、買い物後はレジで袋を渡されて「はいはい」と喜ばれる等、気持ちの良い時間を過ごされたようです。(竹尾昭彦・佐藤寿洋)



4月27日(水) 道の駅みえ

4名の利用者の方がかけてられています。天気も良く、利用者の方はチョコとパニオが楽しめるアイスクリームをいただいたり、また幸せを招くという置き物をベッドに飾ろうと購入された方もおられるようです。この日は訓練課実習生も参加され、担当の利用者の方に付き添いましたが、「いつもの園内とは違う体験が刺激になって笑顔を多く見せてくれたのでは」との感想を持たれたようです。(竹尾昭彦・佐藤寿洋)



生活福祉課



二〇一一年度生活福祉課の目標

統括主任 丸山 久幸

四月一日より、一部の利用者の方は部屋移動がありました。医療や病状に応じ看護の必要な方は「のぞみの丘」へ、病状も安定しゆつくりとした生活や趣味・活動を楽しみたい利用者が「ひかりの大地」へ、それぞれの利用者の方の状況に応じた病棟毎の特色ある体制へ変わろうとしています。移動された利用者の方は、環境の変化や職員の入替わり等で不安も生活リズムや介助の違いに戸惑うかもしれません。しかし、私達はより良い方向を目指して進めようとしています。三月に起きた東日本震災で日本中が「絆」と言う言葉を見つめ直し、一人ひとりができる事を考え身近な人を思いやり、新たな復興生活を築こうとしています。

そのような中、三月二十四日に佐伯市立直川小学校の生徒である利用者の卒業式があゆみ棟で行われました。担任の先生のお話では、「小学校の卒業式で、一人ひとりの名前が呼ばれ、利用

者の方の名前が呼ばれると、生徒全員で「ハイ」と答えた」そうです。クラスの子供たちの中にはいつも彼女がいて、その思いやりがお互いを繋ぎ、まとまりあるクラスでした」と、エピソードを紹介してくれました。同級生の思い出やそれぞれの旅立ちを感じ、一人ひとりの存在と意義を改めて考えさせられました。

二〇一一年度の園目標は「おもいやり」です。利用者さんへのおもいやり、みんな・自分へのおもいやり。この言葉をモットーに我々生活福祉課も利用者一人ひとりを尊重し、繋がる家族や支援する職員との絆を大切に、新たな生活への不安を希望に変え、利用者が笑顔で、目を輝かせ活き活きと日々を過ごせる支援や環境を職員全員で努めて行きたいと思えます。

今年度の生活福祉課の目標は、

1. 利用者の意志を尊重し、配慮する事で安心して過ごせる環境を整えます。

- ・利用者に行動の目的を伝え、声かけを日頃から行います。
- ・利用者一人一人と向き合い、状態を観察し傾聴・受容と共感を持って接する事を心がけます。

II. 居室の場と活動の場を整え、利用者主体でのリズムある生活を支援します。

- ・職員間で連携し、生活や活動の支援に努めます。

としています。一人ひとりの病状や

生活の希望や願いは、異なると思います。利用者一人ひとりに目を向け、思いや声なき訴えに答え、喜びや感動を利用者ご本人とご家族やボランティア職員みんなで共有したいと、思います。

今年度も生活福祉課の活動支援へご協力をお願い致します。



ご卒業おめでとう
ございます!

ごだま



春の花に誘われて

通園ごだま 生田 早苗

四月に入り少しずつ暖かい日が多くなり、花壇や潔き聖母の家、ルルドの丘などでいろいろな花が咲き始めました。ごだまでも療育の中で散策を取り入れ、外へと出かけ、花を見たり、いろんな植物を見つけたり、春の暖かい日差しを体を感じたりしています。今年は吉四六ランドへのお花見を計画し、水、木曜日の二日間に行き、利用者様と一緒に吉四六ランドへ行きました。

二日共天気に恵まれ、吉四六ランドの桜は満開で、そよ風が吹くとパラパラと桜の花びらが散っていました。池の歩道をゆつくりと散策していると、お花見に来られた方より「こんにちは」と声を掛けられ、笑顔を見せる利用者様や「こんにちは」と声を出して答える利用者様もいて、いろんな人達とのふれ合いも出来たのではないかと思います。散策後は日陰で水分補給をしながら「今日は楽しかったかなあ?」と利用者様に聞くと、「楽しかった」と返事をもらい、スタッフも喜んでいました。

いつも行っている療育を、ちょっとした工夫を加える事によって、利用者様の感じ方や喜びも変わってくるのでこれからも遠くに行くのではなく、近場で利用者様の負担にならない程度の外出も取り入れられたらと思います。



課 保護 看 有



アニマルセラピーを

ご存知ですか

看護師 廣瀬 久美代

みているだけで、ついつい顔がほころんでしまう、かわいい動物達。ペットとしても身近な存在としての「彼ら」と触れ合うことで、人は、「心が和む」「気持ちが悪く着く」「癒される」と感じます。利用者のFさんの「犬を触ってみたいナ」と言う声をきっかけに園に犬を連れて行く様になったのが十年前のことです。両手を広げて大型犬に抱きつくKさん、職員の手をつねり、痛がる様子をみて喜ぶHさんも手のひらをいっばいに広げて仔犬を優しく撫でながら寝かせたりと、いろんな表情や行動に、とてもびっくりしたり、又、感動したことを今でも覚えています。動物を介して、もっと沢山の人の笑顔がみたい、いろんな人達と触れ合いたいと、昨年、八月にNPO法人、日本アニマルセラピー協会、大分本部として活動を始めました。毎月、恵の聖母の家をはじめ、高齢者施設やデイサービス等訪問させて頂いております。相手

を選ばず、壁を作らず接してくれるセラピー犬達。みなさんは「動物ふれあい通信」でご覧頂いていると思いますが、本当にみんなステキな笑顔(表情)です。そして、この機会に立ち合うことが出来る私はとても倖せ者です。これからも、みなさんの笑顔をいっばい、見るために質の高い、セラピスト、セラピー犬をめざし、がんばりたいと思っています。



ヴィトンちゃん(左)・モコちゃん(中央)・ヒロちゃん(上)・あいちちゃん(下)

課 訓練



冒険

理学療法士 樋口 奈菜美

私の好きな詩人に「ひすいこうたろう」という人物がいます。今から2年前に出会った彼の作品の中でも好きな詩を一つ紹介したいと思います。

【人生を振り返って】

こんなアンケート結果があります。アメリカで九十歳以上のご老人に聞いたものです。

質問はただひとつ。

「九十年の人生を振り返って唯一後悔していることは何ですか？」

これに対して九割の方が同じ答えだったそうです。さて、何だと思えますか？

「もっと冒険しておけば良かった」だそうです。

…というわけで、「もっと冒険しておこう」まだ僕らは間に合いますから。

「冒険」とは成功するかどうか成否が確かでないことをあえてやってみることに、という解釈をされます。これを当時の私に置き換えた時、私は冒険心を持って毎日を過ごしているのかと疑問を抱きました。また、仕事や私生活において無意識の内に「無難」な方法を選択していたことに気付きました。

一言で冒険心を持つと言っても目標が具体的ではないため実行することとは容易ではなく、どう行動することが良いのかと悩むこともありました。そこで、一番苦手な「自分の意見を相手に伝えた意見交換」を目標にしました。決意してから2年が経ちますが当園には仕事や人生の先輩が多く、考え方が打ちのめされることもありますが、めげることなく、頭でっかちにならないように相手の考えも受け入れながら、臨機応変な対応を心掛けたいと思います。





保護者の皆様から

振り返って感じること

篠田 公子

去る3月11日に発生した東北関東大震災の惨状がテレビから流れる度、無力の私は被災地の方々の気持ちを察するだけで、掛ける言葉さえも見つかりません。特に被災地の障害を持つ人やその家族の方々の安否や生活状況が重度障害の娘の母親としては心配です。

娘は恵の聖母の家に入所して9カ月になりますが、在宅生活中、常に災害時の避難はどうすればいいのかと思い悩んでおりました。今回の震災は不安を募らせますが、幸いにして入所出来ている現在、その点安堵しております。もし娘が在宅で今回の規模の津波が来ていたら娘の命はなす術もなく、私の命と共に失せてしまっていたのではないかと考えてしまいます。

医師から寿命がないケースだと宣告された幼い頃から、自身の運命と闘い続け今日まで生きて来た娘。重度の障害故、人に直接何かをする事は出来ませんが、その存在そのものが健常者が忘れていた価値観や純粋な心を蘇らせてくれると私は感じています。私にとっては特別な存在、命です。災害に簡単に奪われそうな身の上ですが、そんな訳にはいきません。その気持ちを汲んでくれるかの様に自然の成り行きは入所の道へと進んでくれました。私は有難く心の底から感謝する毎日です。

娘は6歳から恵の聖母の家でショートステイを始め、10年が過ぎました。それだけの時間、恵の聖母の家の医師、看護師さんを初め、全てのスタッフの皆様と意思疎通を計って来たのです。月日を重ねるごとに娘の成長が私や家族は喜びを感じて今日に至っておりますが、それも恵の聖母の家の皆様方との意思疎通がとれた安心感の中に娘が居たからこそ成長が促されたと考えます。

漠然と思っていた「恵の聖母の家が将来の娘の拠所となれば」との願いが叶い、娘は日々を精一杯生き、自分なりに前進しています。今は只、娘の命の灯りが自然に燃え尽きるまで恵の聖母の家での生活を謳歌し、関わる全ての人々とこれまで以上に心を通わせて欲しいと願っています。

(2011年4月寄稿)



支援学校 訪問教室

大分県立臼杵支援学校 教諭 小代 多恵子

私は、臼杵支援学校に赴任して2年目になりますが、今年度より訪問教育学級を担当することになりました。

「恵の聖母の家」で授業を行うのは、小学部3年生と、中学部に入学された2名です。私(小代)と森山が2人の担当です。

去る4月12日に生徒の入学式をあゆみホールにて行いました。できる限り学校の雰囲気を感じてもらいたいと願い、学校の校門をイメージした入場門を作成したり、中学部を始め、たくさんの先生方の協力で会場装飾やプランターの準備を行ったりしました。入学を祝うために、お父さん、おばあさんを始め、本校教職員、施設職員の方々、施設利用者の皆さんがたくさん集まり、大変盛大な式となりました。

主役となった生徒は、お母さんが準備したとっておきのドレスに身を包み、式の間中、穏やかな表情で過していました。児童生徒会長の歓迎ビデオメッセージや校歌の大合奏など、ホール全体が活気ある暖かい空気に包まれていたことに感動を覚えました。

これから、臼杵支援学校の仲間として、新たな学校生活をスタートします。授業は主にベッドサイドで行うこととなりますが、中学部1年の6名の通学生の元気パワーを生徒の元に届けながら、楽しい授業となるように工夫していきたいと思っています。施設職員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



(4月12日入学式の様子です)



★ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ★

新年度に入られたスタッフをご紹介します。①お名前②職種③お住まい④趣味⑤一言



①北原早苗さん②看護助手③野津町④しいていうとドライブくらいかな。⑤3月から仕事を始めています。職場になじめるように、また役に立てるように早く仕事を覚えて頑張ります。



①多々良美幸さん②調理員③野津町④趣味は特にありません。特に無いです。⑤4月から厨房に入りました。こういう職場ははじめてなので、慣れないことが多いですが、一日も早く、先輩たちのようにできるようになりたいと思っています。



①児玉清美さん②看護師③大分市梅ヶ丘④やせるためにエアロビクスを始めて3カ月になります。効果を期待しているところです。公民館に先生が来て1時間くらい、子どもの同級生の母親や近所の人とかと20名くらいでしています。やってみて楽しいです。⑤恵に入って2ヶ月目です。仕事を覚えるのに頑張っています。職場の人はよく教えてくれます。ありがたいと感じているところです。利用者の方の状態も違うので、緊張しながらケアをしています。よろしくお願いします。



①サントス・ロウイさん②看護助手③野津町④趣味は音楽鑑賞です。ポップスや特にバラードが好きです。共感できるので清水翔太とかよく聴きます。また友だちと映画やカラオケとか、よく遊びに行ったりしています。今度GANTZを観に行く予定です。アクションやSFファンタジーが好きで、お勧めなのは映画はアバター。SFファンタジーながらのCGのみで作った世界が素晴らしいと思います。⑤今年20歳です！まだまだ足りないところがあるので、これからもよろしくお願いします。



▼定年再雇用
通園こたま 山田邦文様
託児所 山田順子様
これからよろしく
お願いします。

▼退職
看護師 梶原澄子様
療育員 志賀秀子様
療育員 児玉静様
栄養科 長野悦子様
栄養科 姫嶋志代美様
(3月31日付)
ありがとうございました。
今後のご活躍を
お祈りしております。

人事

感謝

大分県電気工業組合青年部会の皆さまから福祉用具一式をいただきました。ありがとうございました。三月十六日に大分県庁で行われた贈呈式には、当園から二名の利用者の方に出席していただき、電気工業組合青年部会会長の三ヶ尻隆志さまから用具一式を受け取りました。当園利用者の方にはさまざまな障がいがあり、自ら相手に伝えることが難しい場面も少なくありませんが、集団の中でレクを行うと声援や歓声を受けることで意欲が高まったり、より気持ちを表現することにつながっており、レクは大事な活動となっています。

いただきました福祉用具(ターゲットボード・ゴルフ/室内ベタタング)はレク活動やご家族、ボランティアの皆さまと交流する行事に活用していきます。大分県電気工業組合青年部会の皆さまに改めてお礼を申し上げますとともに、皆さまのご健康と今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。(丸山)

福祉レクリエーション用具寄贈

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別
面談 ㊤…権利擁護委員会 ㊦…全体朝礼 ㊧…労働安全衛
生委員会 ㊨…リスクマネジメント部会 ㊩…入浴日

6月		7月		8月		9月					
1	水	㊩	1	金	㊩	1	木				
2	木	2	土	2	火	㊤㊦㊧	2	金	㊩		
3	金	㊩	3	日	3	水	㊩	3	土	動物ふれあい	
4	土	動物ふれあい	4	月	㊩	4	木	4	日		
5	日	5	火	㊤㊦㊧	5	金	㊩	5	月	㊩	
6	月	㊩	6	水	㊩	6	土	6	火	㊤㊦㊧	
7	火	㊤㊦㊧	7	木	7	日	7	水	㊩		
8	水	㊩	8	金	㊩	8	月	㊩	8	木	パークプレイス
9	木	内山観音	9	土	9	火	◎	9	金	㊩	
10	金	㊩	10	日	10	水	㊩	10	土		
11	土	11	月	㊩	11	木	室内レク	11	日		
12	日	12	火	◎	12	金	㊩	12	月	㊩	
13	月	㊩	13	水	㊩	13	土	13	火	◎	
14	火	◎	14	木	道の駅きよかわ	14	日	14	水	㊩	
15	水	㊩	15	金	㊩	15	月	聖母被昇天ミサ	15	木	㊨行事委員会
16	木	㊨	16	土	16	火	㊩	16	金	㊩	
17	金	㊩	17	日	誕生会	17	水	◎	17	土	
18	土	18	月	㊩	18	木	㊨人権研修会㊩	18	日	誕生会	
19	日	誕生会	19	火	◎	19	金	19	月	㊩	
20	月	㊩	20	水	㊩	20	土	㊩	20	火	◎
21	火	◎	21	木	㊨夏のあそび	21	日	誕生会	21	水	㊩
22	水	㊩	22	金	㊩	22	月	㊩	22	木	
23	木	内山観音 みさかえの園見学	23	土	23	火	◎㊦	23	金	㊩	
24	金	㊩	24	日	24	水	㊩	24	土		
25	土	25	月	㊩	25	木	25	日			
26	日	26	火	◎㊦	26	金	㊩	26	月	㊩	
27	月	㊩	27	水	㊩	27	土	ボランティア公演	27	火	◎
28	火	◎	28	木	夏のあそび	28	日	28	水	㊩	
29	水	㊩	29	金	㊩	29	月	㊩	29	木	臼杵マルシヨク
30	木	道の駅きよかわ みさかえの園見学	30	土	30	火	30	金	㊩		
		31	日	31	水	㊩	※予定変更の場合があります。				

ご寄付

2010年度は下記の皆さまからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

▼恵の聖母の家めぐみ会様/田中達三郎様/熊埜御堂良資様/國広久士様/稗田富代様/安達宗好様/横山茂樹様/臼杵市社会福祉協議会様/大分県電気工事工業組合様/大分県共同募金会様/保護者匿名様/職員匿名様(順不同)

編集後記

第20号にいただいた原稿の中には震災関連の内容がありました。被害にあわれた関係者の方々に対してできることは何かを共に考えていきたい毎日です。今年度もよろしく願い申し上げます。(S・M)